

地区だより

…………… 令和元年 7月1日発行

ちゅうおう

<地区人口と世帯数>

男 19,358人 女 20,749人
計 40,107人
世帯数：20,948世帯
(6月1日現在)



市からのお知らせ

【編集発行】

福島市役所広聴広報課
〒960-8601 福島市五老内町3-1
☎525-3710 ㊟536-9828

令和元年度 自治振興協議会開催のお知らせ

中央地区の自治振興協議会は、下記の日程で開催されます。

■問/市民協働課 ☎525-3731

●中央東地区

と き/8月21日(水) 午後2時から
ところ/保健福祉センター 5階大会議室
協議テーマ/(予定)
「国道115号街路樹帯の改修について」
「市道天神町・浜田町線における自転車通行の安全確保について」
テーマトーク/(予定)
「福島市の持つ観光資源の有効活用」

●中央西地区

と き/7月17日(水) 午後2時から
ところ/三河台学習センター 2階ホール
協議テーマ/(予定)
「福島市の東西を結ぶ太田町ガードの抜本的改修について」
テーマトーク/(予定)
「2020年東京五輪に向けて、福島らしいおもてなしについて」

令和元年度 中央地区町会連合会総会

■問/市民協働課 ☎525-3731

5月14日に中央地区町会連合会総会が開催されました。

ひきちくにお
引地洲夫連合会長(入江町団地親和会会長)からは、「これまで以上に住民自治組織と行政が連携し、地域の特色と独自性を生かした、活力あふれる住みよい地域社会の実現に向けて、より積極的に取り組んでいきたい。」とのあいさつがありました。

総会では、平成30年度の事業や収支決算について報告の後、今年度の事業計画や収支予算、役員改選について協議しました。



●「まちなか交流スペース」オープン●

5月25日、旧東口行政サービスコーナー跡が「まちなか交流スペース」として再スタートしました。

ここでは、市民と行政が共に力をあわせて施設の再生を行うという、本市としては初めての手法で整備していく施設です。「まちなか交流スペース運営協議会」で、定期的に施設運営に関する協議を行い、今後は、内装や外装、備品などについても検討していきます。

休憩スペース、情報発信スペースとしての利用のほか、交流・活動拠点としての利用も出来ます。



◀オープニングセレモニーに参加した市長と運営協議会の皆さん

■問/まちなか交流スペース ☎524-3717
市民協働課 ☎525-3731

中央東地区 「花によるおもてなし事業」

5月26日に開催した第6回「花によるおもてなし事業」は、中央東地区まちづくり計画推進懇談会が、絆まつりで街なかを訪れる皆さんをおもてなしの心でお迎えしたいという思いから、まちづくりの取り組みとして行なったものです。一般ボランティア、子どもたちや高校生、大学生、地域住民の皆さん約80人が協力して花苗を植えたプランターには、「おもてなし」メッセージも添えてあります。



▲福島市役所正面駐車場で子どもたちや学生も地域住民と一緒に花苗を植えました。

このプランターは、レンガ通り沿いなど13カ所に設置しています。

きれいな花と心のこもったメッセージは、街なかを訪れる方々の目を楽しませてくれることでしよう。

■問/市民協働課 ☎525-3731

中央学習センターからのお知らせ

【編集】福島市中央学習センター
〒960-8018 福島市松木町1番7号
☎534-6631 ㊟533-7592

親子の広場

今年度は、夏休み中に2回開催します。内容は、つくってあそぼう！科学工作(1回)、星空観察(1回)です。2回連続で申し込んでも、1回のみ参加も可能です。



- ◇対象者：中央地区内の幼稚園年長組と小学校1年から3年までの児童とその保護者
- ◇定員：15組 ※星空観察は親子40名(市のバス2台で移動)
- ◇開催日時と内容

	開催日時	内容・講師	場所
I	7月27日(土) 午前10時～12時	楽しい科学遊び～つくってあそぼう～ ブーメランづくり、スライムづくり、科学実験等 元福島市立三河台小学校長 荒木藤夫先生	中央学習センター 2階ホール
II	8月7日(水) 午後5時半～9時 (17:30学習センター集合、 17:45出発 20:30UFOふれあい館 21:00学習センター着)	星空観察 (天体望遠鏡で夏の夜空を観察し、宇宙や 星座の話を書く) 福島天文同好会 会長 佐藤 光氏 福島天文同好会 佐藤 正行氏	UFOふれあい館駐車場 (雨天時は中央学 習センター2階 ホール午後6時 ～7時半)



- ◇参加費：I～IIとも、1人150円
- ◇申込：7月3日(水)9時～7月10日(水)正午まで、中央学習センター窓口で受け付けます。参加費を添えてお申し込みください。電話での申し込みは、7月5日(金)から受け付けます。☎534-6631
なお、7月9日(火)は休館日のため受け付けできません。
- ◇その他：申し込み後、都合でキャンセルする場合は、早めにお電話ください。準備の都合で、返金できない場合もあります。

第21回 中央地区囲碁大会

中央地区囲碁愛好者のみなさん！子どもから大人まで年齢に関係なく、楽しく碁を打ちながら交流を深めましょう！！

- とき：8月3日(土) 午前9時～午後4時
 - ところ：中央学習センター 2階ホール
 - 対象：中央地区在住、在勤、在学の囲碁愛好者(小・中・高校生も含む)
 - 定員：30名(先着順)
 - 試合方法：階級位ごとに2～3クラスに分け、手合割により4局を実施します。(1クラス10名程度)
 - 参加費：1,000円(昼食代含む)
 - 申込方法：7月4日(木)～7月25日(木)までに中央学習センターにある参加申込書に記入の上、参加費を添えて中央学習センター窓口へ申し込みください。
電話での申込みは7月5日(金)から受け付けます。
- ※受付時間は午前9時～午後5時45分まで(火曜日・祝日は除く)



第4回

『これを学んで福島通になろう』 郷土史家 江代正一氏

『川は歴史を作る ～信夫の郡家と峯越の駅家と腰浜廃寺～』

信夫の郡家(ぐうけ)と峯越駅家(みねこしうまや)が何処に設置されたのか、いまだに不明だが、その謎解きは古代の阿武隈川の河岸段丘を調べるとわかるかもしれない。

古代奈良時代、大和を中心に中央集権国家を形成し、全国に7つの行政区を設置し、東山道、北陸道、東海道、山陽道、山陰道、西街道、南街道を通る道路を作った。その中で、東北地方を通る道は(官道)東山道で、福島を中心市街地を通過していた。

古代官道の道幅は大路が12m、中路が9m、小路が6mのそれぞれ直線道路で、東山道は9mであった。

駅家は16km間隔で作られ、その駅の名は峯越駅を名付けられた。その駅家は腰浜廃寺(今の腰浜稻荷神社周辺)に設置されていたと考える。なぜならば、阿武隈川(2本流れていた古い川の方)の下砂礫段丘上で、地形的にも安全な場所だったからである。

この東山道のルートは、古代から中世までの幹線道路として使用し、その辺りには字名として西宿、東宿、北宿、南宿が残っている。

一方、信夫郡家の位置はというと、昭和35年、国道4号北町バイパスが着工したとき、五老内地内から厚さ60cmの炭化米の層がこの周辺から発見されており、この地区が古い松川と古い阿武隈川の複合河岸段丘上であること、微高地の地形で正倉(米蔵)を設置され、相当広い範囲に焼米が発見されたことから、今の五老内地内に古代の信夫郡家があった可能性があったと考える。これらのことから、五老内地区と古い阿武隈川の対岸の腰浜地区が当時の行政の中心地であったと推測できる。(※郡家(古代の役所)、駅家(古代の役人が宿泊する施設))

学習センターで勉強しよう

- 学習センターでは主催事業や団体利用がない場合、空いている部屋を「個人学習」として自習などに使用できます。
- ★利用時間：午前9時～午後5時45分(火曜日などの休館日を除く)
 - ★利用方法：直接学習センター窓口で申し込んでください。(部屋の空き状況は、あらかじめ電話でご確認ください。)